



# 地域の蚊対策



## ヒトスジシマカ幼虫の発生源対策

ヒトスジシマカは比較的小さい容器の水中に発生します。

家庭一庭先に置き忘れたバケツやジョウロ、コンビニの弁当などのプラスチック容器、空き缶  
植木鉢の皿、ビニールシートの溝、壊れた雨どい、手水鉢  
神社やお寺一墓石の花立て、手水鉢  
その他一古タイヤ置き場、水の滞った排水溝 など

対策 → 住宅周辺にある発生源を極力無くしましょう

- 1週間に1度、住宅周辺の雨水が溜まった容器を逆さにし、水をなくしましょう。
- 逆さにできない手水鉢、墓石の花立ては、きちんと洗浄し清潔にしておきましょう。
- 空き缶、プラスチック容器は、雨水のかからない場所に片付けておきましょう
- 水の溜まりやすい古タイヤには、コップ半分の塩を入れておくと予防になります。

また、ヒトスジシマカの卵は、数か月乾燥した環境におかれても、いったん水に浸ると孵化します。一旦、幼虫（ボウフラ）が発生したことがあるバケツなどの容器は、きちんとこすり洗いをしましょう。



## ヒトスジシマカの成虫蚊対策

ヒトスジシマカは、潜伏場所で、ヒトが近づいてくるのを待ち伏せています。

ヒトスジシマカが好む潜伏場所は、民家の庭、公園、墓地などで、樹木の根元が、低木（ツツジやアジサイ）や下草で覆われた日当たりが悪く風通しの悪い場所です。ヒトスジシマカは、低木や下草の葉裏に潜んでいます。

対策→ 定期的の下草を刈り、低木の剪定を行い、日当たりや風通しを良くしましょう。



## 個人的防御

対策→肌の露出を避け、ヒトスジシマカが潜伏しそうな場所へ行く場合は、長袖シャツ、長ズボンを着用しましょう。首、手首など小さな露出面でも吸血される場合があります。  
→忌避剤（虫除け）はディート含有率12%までのものが広く使用されていますが、屋外で長時間活動する際は、2時間毎を目安に再塗布しましょう。  
→ヒトスジシマカは、昼間（朝から夕方まで）に吸血します。夜間に使用している蚊取り線香は、昼間でも使用するようにしましょう。